

インフォメーション

講座の申込み・問い合わせ：仙台市市民活動サポートセンター
 TEL 022-212-3010 / FAX 022-268-4042 Mail sendai@sapo-sen.jp
 メールでお申込の方は、件名をイベントタイトルとして、氏名・電話番号をお知らせください。

マチノワラボ「社会的連帯経済ってなんだ!?—フランスから学ぼう—」

日時:5月11日(木)午後4時～午後6時
 内容:東日本大震災、少子高齢化、貧困、ソーシャルビジネス、新たな地域経営。社会の課題は複雑化し、課題解決の担い手は多彩さを増しています。マチノワラボは、そうした現状の理解を深め、先進事例から学び、持続的な地域づくりを考える未来志向の場です。参加する人同士の対話を通して、仙台や東北そして社会の課題にアプローチします。今回のテーマは「社会的連帯経済」。人々のつながり、環境保全や持続性を重視する新しい経済システムといわれ、法制化も進む社会的連帯経済について、専門家の方より全体像と事例を中心にご紹介いただきます。
 会場:仙台市市民活動サポートセンター 市民活動シアター
 ゲスト:花田昌宣さん(熊本学園大学社会学部福祉環境学教授)、福原宏幸さん(大阪市立大学経済学部経済学専攻教授)
 定員:50名
 対象:地域の課題に取り組む市民・企業・行政。セクターの壁を越えて課題解決やまちづくりに取り組みたい方など
 参加費:無料
 主催:仙台市市民活動サポートセンター、(一社)パーソナルサポートセンター
 共催:(特活)都市デザインワークス、(特活)せんだい・みやぎNPOセンター
 申込み先:(一社)パーソナルサポートセンター TEL 022-399-9662 Mail info-kizuna@personal-support.org

講座

初めての市民活動を応援します「はじめてのミニイベント」

日時:6月24日(土)
 「企画運営基礎編」午前10時～午前11時
 「企画書作成編」午前11時10分～午後12時30分
 内容:市民活動初心者の皆さんを対象に、ミニイベント(※)の企画から当日までの流れと、企画書の作成について、基礎から学べる講座を開催します。どちらか一方だけでも、両方でも受講可能です。
 ※ミニイベント:講演会や研修会、交流会、活動体験会など、外部の人の参加も想定される定員数名～100名、予算10万円未満の企画。
 会場:仙台市市民活動サポートセンター 研修室5
 定員:各15名(先着順)
 対象:これから活動を始めようと考えている方 新しく団体・グループを立ち上げた方 新たにミニイベントの企画を予定している団体・グループの方
 アイディアを実行に移せずにいる方 新たなイベントを計画中の市民活動団体・NPO法人
 手探りで活動していて、企画の実施に不安のある市民活動団体・NPO法人など
 参加費:無料



つながる つなげる サポセン

仙台市市民活動サポートセンターとは

様々な分野の市民活動、ボランティア活動の支援施設です。「自分たちのまちをもっと良くしたい」。そんな市民の自発的な活動を応援します。

ご相談ください

ボランティア活動をしたい/団体を立ち上げたい/組織運営の悩みを解決したい/他の団体や他のセクターと連携したい/自分のスキルを地域や社会に役立てたい...

今月の休館日：5月10日(水)・24日(水)

開館時間 月曜日～土曜日 9:00-22:00
 日曜日・祝日 9:00-18:00
 休館日 毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は翌日木曜日)年末年始

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3
 TEL 022-212-3010 FAX 022-268-4042
 地下鉄南北線「広瀬通駅」西5番出口すぐ/地下鉄東西線「青葉通一番町駅」北1番出口から徒歩6分
 [HP]http://www.sapo-sen.jp [Blog]http://blog.canpan.info/fukkuu/ [Twitter]@sensapo

仙台市市民活動サポートセンターは、特定非営利活動法人せんだいみやぎNPOセンターが仙台市の指定管理者として、管理運営を行っています。[指定管理期間2015年4月1日～2020年3月31日]

市民ライターや学生記者が、仙台の市民活動団体やワクワクビトを取材しています！

▶市民ライター
<https://kacco.kahoku.co.jp/author/writer>
 ▶情報ボランティア@仙台
<https://kacco.kahoku.co.jp/author/volunteer16>

▶「ぱれっと」バックナンバーはホームページからダウンロードできます。
 ▶ぱれっとに関するご意見をお寄せください。

[ぱれっと読者アンケート]サポセンホームページからアクセス
 いただくか、携帯電話等でQRコードを読み取ってご利用ください。



発行 仙台市市民活動サポートセンター
 発行日 2017年5月1日
 編集 特定非営利活動法人せんだいみやぎNPOセンター
 デザイン PEACE Inc.
 編集人 菊地 竜生 太田 貴 菅野 祥子 松村 翔子 黒川 夕紀
 発行部数 3000部
 配布場所 市内公共施設や行政窓口、市内一部店舗、市内外の支援施設

ぱれっと 5

仙台市市民活動サポートセンター通信 ぱれっと 2017 No.213

「ぱれっと」には、仙台市市民活動サポートセンター(サポセン)にいろいろな人が集まり、それぞれの色(個性)が発揮され、新しい出会いや活動が生まれていく。そんな願いがこめられています。

今月の
 ワクワ
 ビト
 仙台演劇カレンダー
 むら おか か な
 村岡 佳奈 さん (25)

演劇のチカラで
 元気になってほしい

「演劇はライブ感が面白い」と話すのは、仙台市在住の舞台俳優村岡佳奈さん。2015年からは仙台演劇カレンダーの編集部員として、演劇情報をウェブサイト

で発信しています。人前に立つのが好きな村岡さんが演劇を始めたのは、大学に入ってから。在学中、東北4県ツアーに誘われていたところに東日本大震災が起きました。「舞台上がりたい」。理屈ではなく、素直な気持ちで出演を決めました。被災地での公演がどう受け止められるのか不安もありましたが、観客の表情が明るくなっていくのを目の当たりにして、演劇のチカラを実感。「演劇で人の役に立ちたい」という強い気持ちが芽生えました。

今では、舞台上上がり直接元気を届けながら、舞台の下では演劇がもっと身近になるように公演情報を発信する日々を送っています。「映画観る?それとも舞台観る?」。仙台演劇カレンダーを見ながら、そんな会話が交わされるシーンが、仙台の街の日常になることを願っています。

取材・文 市民ライター 阿部哲也

仙台演劇カレンダー

HP <http://sencale.com> Mail info@sencale.com

宮城県内の小劇場で行われている演劇やダンスパフォーマンスの公演情報を掲載しているウェブサイトです。開設は2013年。編集部員は7名で、舞台音響家や俳優など演劇に携わっている有志です。公演予定はカレンダーから確認でき、フライヤーも見ることができます。劇団主宰者へのインタビューやお気に入りフライヤー投票などの企画で、作品を身近に感じてもらう工夫をしています。

特集

三位一体で取り組む青葉通の







エリアマネジメント

青葉通まちづくり協議会

三位一体で取り組む青葉通のエリアマネジメント 青葉通まちづくり協議会

青葉通は、仙台駅前から西公園までの、ケヤキ並木がある大通りです。戦後に整備され、杜の都・せんだいのシンボルロードとして市民に親しまれてきました。地下鉄東西線の開通工事が2013年に完了し、現在道路・歩道の再整備が進んでいます。青葉通の魅力や価値を見つめ直そうと、青葉通に関わる多様な人たちが取り組むまちづくりを紹介します。

杜の都のシンボル「青葉通」をさらに魅力ある街並みに

企業	町内会	商店組合
 <p>青葉通まちづくり協議会事務局 株式会社藤崎 総務部担当部長 しょうじただし 庄子直 さん</p>	 <p>仙台市大町会 会長 こまい ひでしげ 駒井秀重 さん</p>	 <p>サンモール 一番町商店街 振興組合理事長 ふじわらただし 藤原直 さん</p>
 <p>株式会社藤崎 総務部担当係長 いずみだ ともいちろう 泉田朝一郎 さん</p>	 <p>片平地区 連合町内会 会長 こんの ひとし 今野均 さん</p>	 <p>仙台駅前 商店街振興組合 前理事長 よこやまおさむ 横山治 さん</p>

協議会員
〔企業〕 株式会社風月ビル / 東日本旅客鉄道株式会社仙台支社 / 株式会社ヒューモス / 株式会社七十七銀行 / 有限会社アルアンドジェイ仙台 (オリックス株式会社) / アイリスオーヤマ株式会社 / イオンリテールストア株式会社 イオン仙台 / 有限会社グッドタイム / 株式会社仙台銀行 / 株式会社藤崎 / 三菱地所株式会社東北支店 / 東日本電信電話株式会社宮城支店 / みずほ銀行仙台支店 / 日土地ビルサービス株式会社仙台営業所 / 仙台一番町駅ビル株式会社 (シリウス仙台) / 野村不動産株式会社仙台支店 / 菊水商事株式会社 / 株式会社マナセ東北 / 株式会社バイタルネット / 株式会社駒井 / 株式会社アークホテル (アークホテル仙台青葉通り) / 三井不動産株式会社東北支店 / 龍宝不動産 / 大成建設株式会社東北支店 / 株式会社読売新聞東京本社 / 順不同
〔町内会〕 青葉通町会 / 片平地区連合町内会 / 御膳代町まちづくり実行会 / 仙台市大町会 / 大広会 / 順不同
〔商店街〕 仙台駅前商店街振興組合 / サンモール一番町商店街振興組合 / 仙台商工会議所 / 仙台駅前商栄会 / 順不同

地域総出で通りに賑わいを

約1.7km続く青葉通沿いには、仙台の玄関口である仙台駅側、商店街、金融機関・オフィスが並ぶビル街、住宅の多い西公園側と、様々な顔を持つエリアがあります。今、魅力ある景観づくりと、エリアごとの特徴を活かした賑わい創出に湧いています。

仕掛けるのは、青葉通沿道の企業、町内会、商店組合など青葉通に関わる36団体からなる、青葉通まちづくり協議会。事務局は、仙台で最も古いデパートで、青葉通沿いに本店を構える株式会社藤崎(以下、藤崎)が担います。

2017年3月、青葉通とサンモール一番町商店街が交差する歩道・道路の再整備が終わり、広々とした歩道に新たなケヤキが植樹されました。サンモール一番町商店街組合理事長の藤原直さんは「歩道を活用したイベントも開催しやすくなり、青葉通全体の一体感も増す」と今後を期待を膨らませます。

お互いを知る中で出来た信頼関係

結成のきっかけは、2011年に実施した、地下鉄工事に伴う道路整備や街並みづくりの検討会でした。仙台市都市景観課の声がけで、青葉通関係者26団体が参加。2012年8月、活動を継続しよう、改めて集った人たちが協議会を立ち上げました。

目指すのは、ケヤキ並木と調和した魅力ある街並み。首都圏への視察や勉強会を重ね、2015年12月、建築物や広告物に関する指針をまとめた「青葉通街並み形成ガイドライン」を完成させました。平行して、賑わい創出事業も実施。まずは青葉通とそこに关わるお互いを知ろうと、協議会メンバーを対象とした、青葉通沿道の街歩きを開催。青葉通沿いの地域に暮らす片平地区連合町内会会長今野均さんと大町会会長駒井秀重さんが案内人となり、沿道の商店や歴史を感じるスポットを紹介しました。2016年には、まちづくりを専門とするNPOと協力し、ケヤキの下でくつろげる空間づくりに挑戦。意



■連絡先
●青葉通まちづくり協議会事務局(株式会社藤崎 総務部内)
〒980-8652 仙台市青葉区一番町3-2-17 TEL 022-261-5157

識したのは、屋台がひしめいた昭和30年代の青葉通。歩道にイスとテーブルを並べ、青葉通沿いの喫茶店などが屋台を出し、通りを賑わせました。「出たアイディアは、とにかく実践しています」と、藤崎総務担当係長の泉田朝一郎さん。「ケヤキの落ち葉を使った焚火は煙がひどかった」。失敗談も、良い思い出です。

こうした協働の積み重ねが、青葉通全体の防災対策にもつながっています。2015年3月に企業・商店街が連携し、消火訓練や避難誘導訓練を実施。観光客、買い物客、住民など様々な人に対応できる防災対策を進めています。駒井さんは「地域防災に、企業や商店街と取り組めることは心強い」と、安心・安全なまちづくりに意欲を燃やします。

多様な価値観が生み出すまちの魅力

仙台駅前商店街振興組合前理事長の横山治さんは、「仙台駅側の整備はこれから。青葉通への入口として、魅力ある景観にしたい」と、通りとしてのつながりを意識します。

今野さんは、「賑わいをつくるには、子どもを連れて遊びに来たい、観光したい、学びたいなど、様々な目的で人が集まる仕掛けづくりが必要」と多様性の大切さを話します。庄子さんも、「インターネットで簡単に物が買える今、消費するだけの街では生き残れない。青葉通は、歴史や文化が面白い、个性的なお店も多い。様々な立場の人と関わりながら、他には無い価値を持つ通りになりたい」と、意気込みます。

(取材・文 黒川 夕紀)

ハッピー・パンツ・プロジェクト。この可愛い名前プロジェクトでは、障がいのある女性たちが、自分の手で生理ケアができる製品の開発を目指しています。

障がいのある人の生理ナプキンの交換は、介助者によって行われているのをご存知でしょうか。パンツの前後、ナプキンのつけ方などが分からない人も多く、既存の製品で上手に生理ケアができるまで、時間をかけて練習しています。

きっかけは「娘の生理ケアで困っている」という親御さんの一言。運営相談で福祉施設を訪れた公認会計士の成田由加里さんと久保美紀子さんは、考えたこともなかった課題に衝撃を受け、「なんとかしたい!」と立ち上がりました。

共感の輪は広がり、2016年に福祉・教育関係者など8人の女性たちで一般社団法人ハッピーパンツ・ジャパンを設立。どんなデザインや機能が必要なのか調査を進めると、当事者や親、県内の女子高校生たちから意見が寄せられました。デザインは「幸せ」をテーマに公募。可愛いハート柄が大賞に輝きました。企業の協力も得て、夢の生理用品発売の第一歩を踏み出しました。



▲左から、代表の成田由加里さんと久保美紀子さん

多くの人を巻き込み、女性の視点で課題解決策を見つけていく。軽やかで力強いその姿に心を打たれました。

■連絡先
一般社団法人ハッピーパンツ・ジャパン
Mail hpp20150827@gmail.com
Facebook https://www.facebook.com/hppnet/

ドリームパンツでみんながハッピー!

市民ライター 小野恵子

お役立ち本
ぼくらがクラウドファンディングを使う理由
12プロジェクトの舞台裏
編著:山本純子・佐々木周作 出版:学芸出版社

「若者の地域離れを解決したい」「スラムの子どもたちに無料の医療サービスを届けたい」「政治にもっと興味を持ってもらいたい」。このような想いをクラウドファンディングを使って実行した人たちがいます。クラウドファンディングは、インターネットを通じて、資金調達だけでなく、一緒に目標に向かう賛同者を増やすことができます。実践者のインタビューを通し、成功までのプロセスを紹介しています。



からだに優しいお弁当を届けます。
運転ボランティア募集中!

仙台市若林区を中心に、地域に根ざした福祉活動を続けて35年。食事づくりが困難な高齢者や体の不自由な人に、家庭の味を詰め込んだお弁当を届ける「配食サービス」をしています。配達における運転手を募集中。活動時間は、11:00~12:30と16:00~18:00。性別・年齢問わず、週1回から参加可能。詳しくはお問い合わせください。
認定特定非営利活動法人あかねグループ
TEL 022-285-0945



杜の都を味わい尽くす。
西公園を遊ぼうプロジェクト

市民参加企画「杜の都・西公園を遊ぼう」—うらうら西公園—
日時: 5月28日(日)午前10時~午前11時半 / 内容: 仙台市都市部、広瀬川の岸沿いにある西公園。自然豊かな公園の魅力を、のんびり散歩をしたり花壇に花を植えたりしながら味わえます。どなたも参加可。プロジェクトでは、ワークショップやピクニック、マルシェなど様々な切り口で西公園の楽しみ方を提案しています。
問合せ TEL 022-262-2969(ハート&アート空間ビーアイ内)
HP https://www.facebook.com/nishikouen

